

令和2年度第3回遺跡見学会 令和2年11月8日(日)

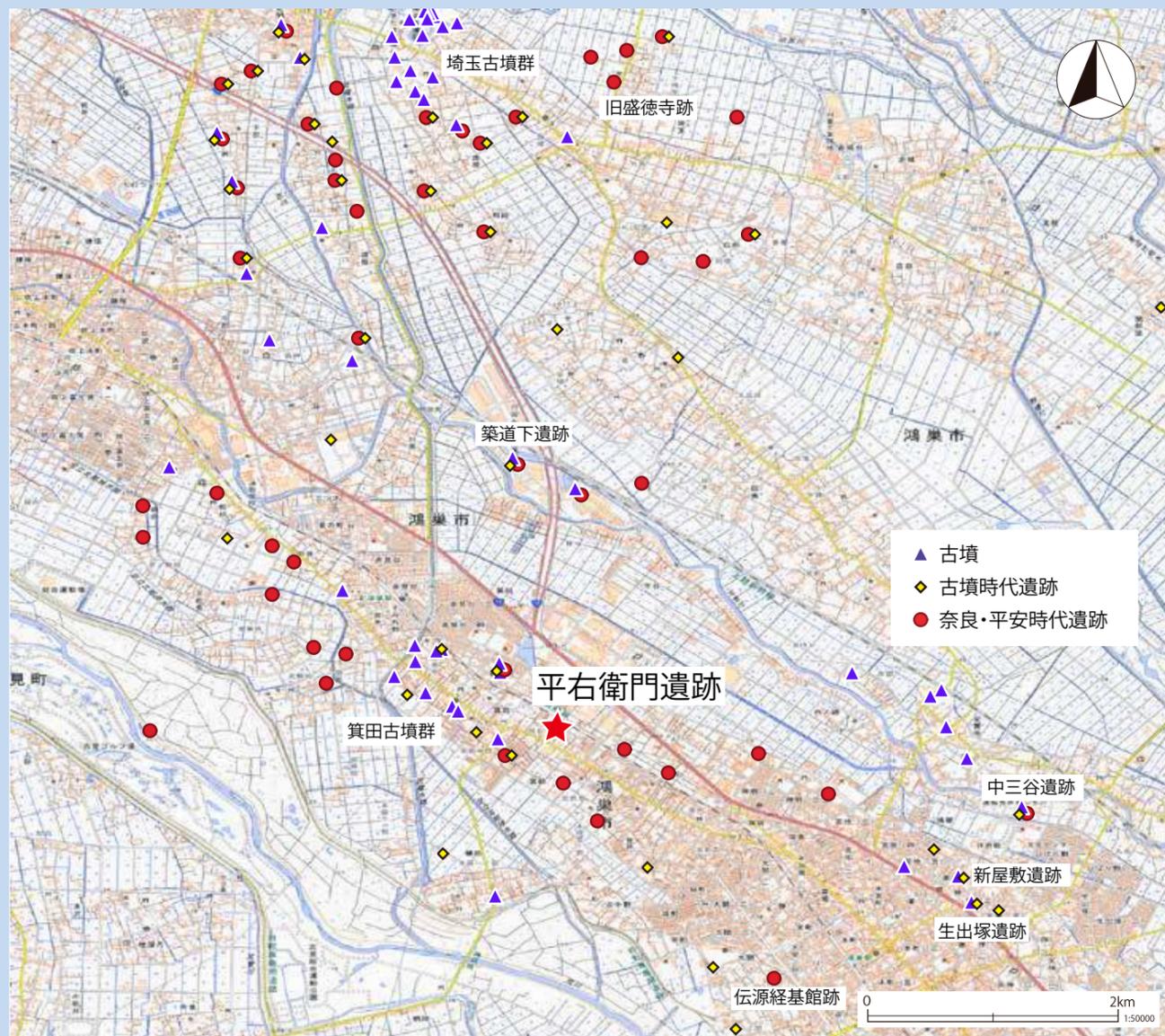
# へいえもん 鴻巣市 平右衛門遺跡 (第2次)

時代	西暦	出来事	遺跡
古墳時代	5世紀		埼玉古墳群 生出塚遺跡 (埴輪窯跡)
	6世紀	593 聖徳太子が摂政となる	
	7世紀	645 大化の改新	
奈良時代	710	平城京に都が遷される	中三谷遺跡 新屋敷遺跡 築道下遺跡 平右衛門遺跡
	752	東大寺に大仏がつくられる	
	794	平安京に都が遷される	
平安時代	9世紀		旧盛徳寺跡
	939	承平・天慶の乱	
	1016	藤原道長が摂政となる	
鎌倉時代	11世紀	1185 鎌倉に幕府が開かれる	平右衛門遺跡
	13世紀	1336 京都に幕府が開かれる	
室町時代	1467	応仁の乱	平右衛門遺跡
戦国時代	16世紀	1603 江戸に幕府が開かれる	
	江戸時代	1867	大政奉還

年表

平右衛門遺跡は大宮台地の北端部にあたる鴻巣市<sup>みだ</sup>箕田にある集落遺跡です。上尾道路建設に先立ち発掘調査を実施しています。昨年度の第1次調査では、古墳時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡や中世の溝跡、火葬跡などが発見されました。

今回の第2次調査は2か所に分かれて行っており、古墳時代終末期～奈良時代初め頃の大型住居跡や中世の大きな溝跡などが見つかっています。



周辺の遺跡



④区 第3号住居跡 大型住居跡遺物出土状況

主催 公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
 共催 国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所  
 埼玉県教育委員会  
 後援 鴻巣市教育委員会

# 平右衛門遺跡 全体図 (1/800)



第1次調査区 (令和元年度)

第2次調査区 (令和2年度)

調査中



⑤区 第1号住居跡 (古墳時代)  
壁溝の二辺が二重となっており、拡張した住居跡と考えられます。



1次2区 第1号火葬跡 (中世)  
死者を茶毘まひに付した跡です。煙道が確認できます。



②区 第1号住居跡 (古墳時代)  
2軒の住居跡が重複して見られました。



①区 第1～5号住居跡 (古墳～奈良時代)  
古墳時代から奈良時代の住居跡4軒が重なり合っていました。



④区 第3号住居跡 カマド遺物出土状況 (古墳時代)  
大型住居跡のカマドです。両袖は土師器の甕を逆さにしたものを芯材にしています。



①区 第18～22号溝跡 (中近世)  
中世から江戸時代の区画溝が並行して走っています。溝の下から奈良時代の住居跡が複数見られました。



①区 第1号溝跡 (中世か)  
中山道に沿って幅5m、深さ3mの大溝が見られました。

0 20m 1/800